

いで油川方面で「ふぐ」「かながしら」「かづみ鯛」等を採集したが、五月二日には東津輕郡一本木から兼ねて依頼して置いた魚が集まつたと云ふ電報が來たので、三日朝出發モーターで受取りに行き、四日午後三時生簗二艘の魚を曳いて歸て來た。五日には縣の水産試験場から「あざらし」が來て大方水槽もいづばいになつたので五月七日に開館した。

開館以來の事としては五月十日に久栗坂の建網で「たら」が三尾とれ、水槽に入て一偉觀を呈した。五月二十一日に「ぶり」及び「うまづらはぎ」が始めて採れ、六月十一日に本年始めての大鯖が水槽に入れられ、六月二十二日には九艘泊から「たい」と「いか」が來て水槽も頗る賑かになつた。

六月二十五日には文部省から水族館及び實驗所の映畫を作る爲めに監督中川氏及白井技師が來所され、屋外に大水槽を作て魚類の游泳狀態及他の海產槽物を撮映した。

新 著 紹 介

(1) DE BEER, G. R. 1926. An Introduction to Experimental Embryology, Oxford University Press, \$ 2.50.

昨年の四月に書かれたものであるが市場へ出初めたのは最近であるらしいのでこゝに改めて紹介する次第である。近年の實驗發生學の著しい發展の爲手頃の纏つた本の無い事は我等初學者にとつて不自由に感じられて居つたが本書は簡單ではあるが稍その缺陷を補つて呉れる。著者の序文に、此小著は別に實驗發生學の問題を全部取り扱ふと云ふのでは無く只その要點丈を連ねたのである。私は多の實驗中 180 を選んで並べて見た。これが今後の研究の骨子となつて呉れればよいと思ふ丈である。JENKINSON の著出版後 LILLIE の受精、CHILD の axial gradient, SPEMANN の分化に関する業績及其他無尾性の變態に於ける内分泌の作用、組織培養、移植などの實驗が發表されたのでそれ等を收録した。ただ性の決定と發達に関する部は GOLDSCHMIDT 及び CREW の著があるから故意に省いた云々。

僅か 150 頁の小冊子ではあるが簡單にして實に要領を得てゐる。殊に卷末にある例の 180 の實驗の表の如きは仲々よい思ひ付きであつて、實驗のテーマと實驗者と所載誌名の三項が順序よく並べてあるから一目瞭然最近の實驗發生學界を通覽することが出来る。將來此の道に志す人は持つてゐてよい本である。然し量の割合に二弗五十仙はちと高すぎる感がある。(平 岩 馨 邦)

(2) PATTEN B. M. 1927. The Embryology of the Pig, P. Blackiston's Son and Co., Philadelphia, \$ 3.50.

最新刊の豚兒發生の教科書。シカゴの例の有名な屠殺場から無盡藏に豚兒を供給する爲めかアメリカの各大學では脊椎動物の發生の材料として Chick と Pig とを併用して居るのでその爲め手引として編まれたのが本書であらう。LILLIE の Chick のそれには及びもつかないが 323 頁のもので要領よく書いて